

# あおぞら

行方市 社協だより

No.26 2012.9.1

— 発行者 —  
社会福祉法人  
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地  
☎ 0299 (36) 2020  
FAX 0299 (55) 4545  
URL <http://www.yokattanet.jp>



ビックリ・発見・夏キャンプ (詳細はP 8)

P12

善意銀行・編集後記

P11

お知らせ

P10

はじめての手話③

P9

ドリームハウスのびのびサポート事業

P8

ビックリ・発見・夏キャンプ

P7

チャリティバザー実施  
玉造地区給食ボランティア募集

P6

いきいき長寿者紹介

P5

赤い羽根共同募金

P2-4

平成23年度事業報告  
平成23年度決算報告

目次

# 平成23年度事業報告

「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して  
次のような事業を実施いたしました

## 会員数

- ・ 一般会員 8429世帯
- ・ 賛助会員 240世帯
- ・ 特別会員 148事業所

## 善意銀行運営事業

- ・ 市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

## 広報啓発活動

- ・ 社協だより「あおぞら」を発行しました。(4回)

## 相談事業

- ・ 弁護士による無料法律相談を実施しました。(毎月2回 相談件数78件)

## 高齢者福祉事業

- 高齢者サロン事業
  - ・ 高齢者が生涯健康で生きがいを持って社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。(2ヶ所 延べ19回)

375名参加

- ふれあい広場事業
  - ・ 健康体操やレクリエーションをとおり、高齢者の健康作りを目的として実施しました。(6ヶ所 延べ54回 延べ1018名参加)

## いきいきゼミナール事業

- 高齢者を対象に理学療法士や行方市シルバーリハビリ体操指導士会による指導で、いつまでも健やかに、いきいきと自分らしく毎日を過ごせるよう介護予防体操教室を実施しました。(2ヶ所 延べ40回 延べ530名参加)

## 元気でくさくさびす館

- 高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。(14回 延べ149名参加)

## 障害児(者)福祉活動事業

- ビックリ・発見・夏キャンプ
  - ・ 協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学



高齢者疑似体験

- ぶごを目的に実施しました。(参加者 延べ139名 協力アール医療福祉専門学校)

## 障害者ふれあい料理教室

- 栄養士考案の献立による料理作りを通じて、健康作り及び仲間作りを行いました。(11回参加者 延べ179名参加)

## のびのびサポート事業

- 長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。(9回 延べ47名参加)

## 児童福祉事業

- 子育てサポーター事業
  - ・ 子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育てを支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(延べ保育サービズ提供時間315時間)

## 母子・父子福祉事業

- ひとり親家庭新入学児童祝い品贈呈事業(3件)
- ひとり親家庭ふれあい遠足(10世帯)

## ボランティア活動推進事業

- ボランティアアセンター事業
  - ・ ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整を行いました。(団体登録41団体 760名 個人登録130名 依頼件数21件 派遣延べ人数 152名)

## 手話教室の開催(延べ115回)

- 児童・生徒へのボランティア普及活動

- 高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での各種福祉体験学習を実施しました。(延べ10回実施)



ボランティア連絡協議会全体研修会



社会福祉大会



いきいきゼミナール



給食サービス



車いす体験

- 運営委員会の開催
- 各種ボランティア団体等への補助金の審査を行いました。

- 福祉教育学区指定事業
- 福祉教育推進のために指定事業を実施しました。(玉造西小学校)

**社会福祉大会事業**

- 行方市社会福祉大会

福祉の推進に寄与した団体や個人に対して、表彰状の授与や感謝状の贈呈を行うとともに、福祉の広報啓発を目的としておもしろいやりコンサートを実施しました。(表彰団体20団体 表彰個人10名 民生委員・児童委員4名 おもしろいやりコンサート 藤田恵美「ル・クプル」)

**生活福祉資金貸付事業**

- 茨城県社会福祉協議会より事務委託
- 低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、

- 在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談件数45件)

**福祉団体への支援**

- 老人クラブ連合会・ボランティア連絡協議会・身体障害者福祉協議会・遺族会等の事務局運営支援を行いました。

**在宅福祉サービス・在宅生活支援事業**

- 福祉機器貸出事業
- 疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。(76件)

**福祉車両貸出事業**

- 障害者や高齢者及びその家族やボランティアの方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。(94件)

**訪問歯科治療機器貸出事業**

- 歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。(6件)

**地域ケアシステム推進事業**

- 支援を必要とする方一人ひとりに専門家チームによるきめ細かい在宅サービスを提供しました。(サービス調整ワークショップ会議14回 検討ケース6ケース 相談件数14件 研修会1回)
- 在宅福祉相談
- 在宅自立生活アドバイス

**在宅福祉サービスセンター事業**

- 高齢者や障害者(児)に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。(利用件数 延べ4525件 利用時間 延べ6364時間)

**在宅言語等リハビリアドバイス事業**

- 病気やけがにより言葉によるコミュニケーション

- コミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。(18回)

**軽度生活援助事業**

- 在宅のひとり暮らし高齢者に対し、軽易な日常生活上の援助を実施しました。(利用者数 延べ86名 利用回数 延べ481回)

**給食サービス事業**

- 在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。(麻生地区 延べ2111食 協力 麻生地区給食ボランティア 北浦地区 延べ1737食 協力 ボランティアグループさわやか 北浦地区食生活改善推進員 玉造地区 1362食 協力 よもぎ会 ひだまり 玉造地区給食ボランティア)

**日常生活自立支援事業**

- 自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。(相談件数 14件 利用者数8名)

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
  - ・ 指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員（ケアマネージャー）によるケアプランの作成、利用者のサービス提供相談、訪問助言指導、介護保険認定調査を実施しました。（ブランク作成数 2409件）

障害福祉サービス事業

- 訪問介護事業
  - ・ 指定訪問介護事業所の運営を行い、ホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。（利用者数 延べ1553名 派遣時間 延べ16451時間）

地域生活支援事業

- 障害者相談支援事業
  - ・ 相談、情報提供、連絡調整
  - ・ 障害程度区分認定調査
- 障害者移動支援事業
  - ・ ホームヘルパーの派遣（利用者数延べ28名）

障害者地域活動支援センター事業

- 障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。（利用者数26名）

共同募金事業

- 赤い羽根共同募金運動
  - ・ 10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも個別募金・学校等募金・イベント募金・設置募金・職域募金・街頭募金を実施しました。（募金総額 4774497円）

歳末たすけあい運動

- 市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。（掃除9件 除草・枝払い38件 障子・網戸張り98件 簡単な修理9件）

新公共システム事業

- 利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシードライバー（アマンド型乗合タクシー）の運行を実施しました。（利用者登録数 3207名 利用者数 延べ19318名）

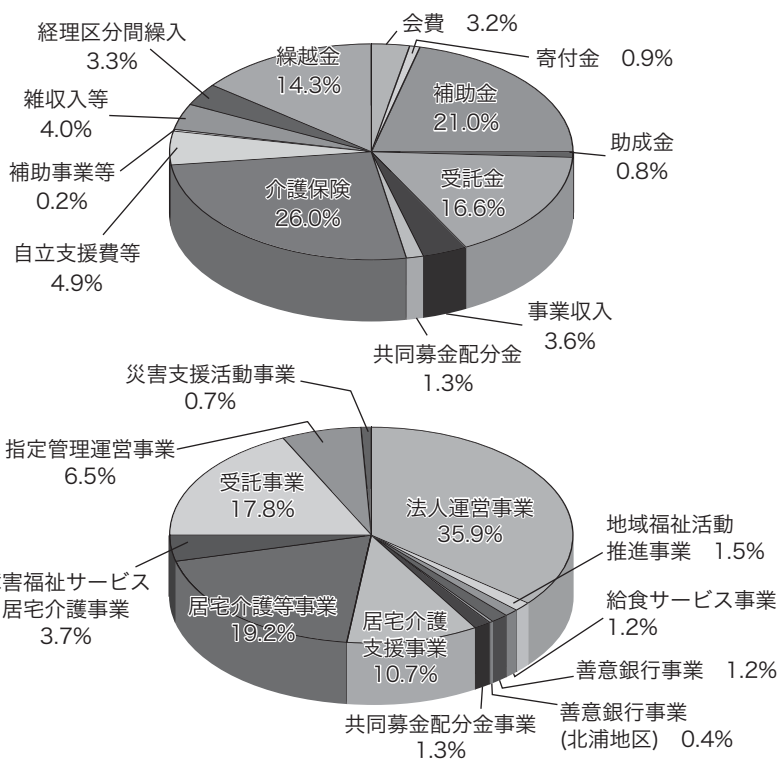
(単位：円)

会費	10,629,000
寄付金	2,954,763
補助金	70,157,849
助成金	2,539,900
受託金	55,475,161
事業収入	12,097,518
共同募金配分金	4,409,161
介護保険	86,978,398
自立支援費等	16,216,904
補助事業等	610,762
雑収入等	13,382,297
経理区分間繰入	11,002,080
繰越金	47,902,129
合計	334,355,922

(単位：円)

法人運営事業	100,891,901
地域福祉活動推進事業	4,268,956
給食サービス事業	3,407,300
善意銀行事業	3,373,220
善意銀行事業(北浦地区)	1,157,051
共同募金配分金事業	3,517,923
居宅介護支援事業	29,914,002
居宅介護等事業	54,001,827
障害福祉サービス居宅介護事業	10,252,102
受託事業	49,845,331
指定管理運営事業	18,151,932
災害支援活動事業	1,967,448
合計	280,748,993

平成23年度決算報告



## 赤い羽根共同募金運動について



### 共同募金とは

社会福祉の分野で唯一法律（社会福祉法）に基づいて行われる計画的な募金です。この共同募金は毎年1回（10月1日から12月31日）、国民総参加のたすけあい運動となって展開されています。民間の福祉施設や団体が個々に募金を行うと、いろいろな問題が起こります。

例：何度も同じような募金が行われてしまう。配分先に偏りがでてしまう。等

このようなことを避けるため、募金を共同募金会に一元化し、寄付金の募集・管理・配分を総合的に調整して行うところに特徴があります。

また、県内で共同募金に寄付したお金は、県内の社会福祉に使われ、県外や国外に使うことはできません。※ 災害支援・救護活動のための準備金のみ、県外への拠出が認められています。

### 共同募金の種類

#### ●一般募金

助成対象となる社会福祉団体・施設などの次年度事業に要する費用の一部を補うための募金です。県内の社会福祉団体活動費・社会福祉施設整備費・地域福祉活動助成費・市町村社会福祉協議会活動費の一部及び管理・運営費として使われます。

#### ●歳末たすけあい募金

歳末時期に行う社会福祉活動に配分する募金です。新たな年を迎える時期、支援を必要とする人たちが安心して暮らせるよう、主に市町村社会福祉協議会が行う歳末支援事業に使われます。

**平成23年度行方市共同募金会募金実績 4,774,497円**

### 行方市内のつがいみち



ひとり親家庭児童入学祝品贈呈事業



ふれあい給食サービス事業（ひだまりのみなさん）



手話講座



障害者支援ボランティアスクール



歳末たすけあい運動



盲人用録音物配布事業（四つ葉会のみなさん）

※その他、老人福祉、障害児（者）、母子・父子、ボランティア活動等にに使わせていただいています。

# 100きりぎりす長寿者紹介

## 山貫とくさん（行方市山幡） 94歳



素敵なお笑顔で・・・

「暑い中、大変だね。」玄関を入るとびきりチャーミングなお笑顔で迎えてくれました。

とくさんは現在94歳です。大洋村（現在の銚田市）で5人兄弟の長女として生まれました。



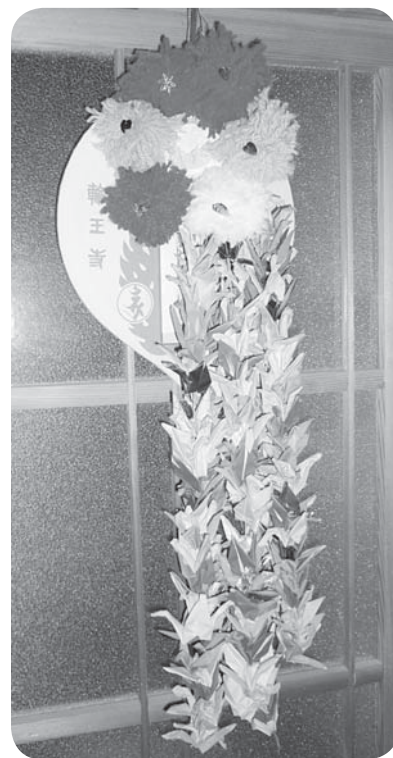
小貫とくさん

海が近い土地柄、小さい頃はよくそこで遊んでいたそうです。

「その頃は今よりもっと海がきれいでね。貝を採って遊んだりしていたんだ。」と教えていただきました。その後、19歳での結婚を機に今の地での生活が始まったそうです。

### 健康の秘訣は歩くこと

とくさんの1日は早朝の散歩から始まります。自宅を出発して歩くこと約1キロメートル。そこのお店で休憩をとり、来た道に戻ってきて合計なんと2キロメートル。悪天候の日以外は毎日続けているそうです。散歩を始めた理由について伺ったと



昨年の誕生日に友人から送られた折鶴

ころ、「8年くらい前に足をケガしたことがあってね。最初はリハビリのつもりで始めたんだけど、今では習慣になっちゃったよ。これが健康の秘訣だね。」と笑顔で答えてくださいました。家に戻ると、テレビを見たり、家事をしたりして1日を過ごします。ちなみに好きなテレビ番組は情報番組と時代劇だとか。また、以前は卓球を趣味としていた時期もあったそうです、今日の体力の基礎はそこで培われたものかもしれません。

### 家族に感謝

自分でできることは、すべて

自分でするようになっているとおっしゃっていたとくさんに、今後の目標をお伺いしました。すると、「100歳まではなんとか生きたいね。」と少し照れくさそうな様子で答えてくださいました。続けて、「この年まで元気でいられるのも、家族が良くしてくれているからだよ。本当に感謝しているよ。」とこちらは今日一番のお笑顔で答えてくださいました。

暑い中のインタビュにもかわらぬ、終始素敵なお笑顔で応対してくださいましたとくさん。これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

たくさんの善意  
ありがとう  
ございます



~ふるさとふれあいまつりで  
チャリティバザー出店~

ふるさとふれあいまつり（商工会主催）が開催された8月4日（土）、行方市ボランティア連絡協議会玉造地区委員会がバザーを出店し、38,280円の売り上げと13,594円の募金が集まりました。

合計51,874円は災害義援金（東日本大震災・大分県大雨災害・熊本広域大水害・福岡県豪雨災害）として被災地に送らせていただきました。

参加者の声

この試みは10年以上続いていると聞いています。私自身は出店準備やお客さんとのやりとりを楽しんでやらせていただいています。皆で持ちよった品物が役に立っていると思うと嬉しくなります。



募金活動の様子

バザー出店の様子



# 玉造地区給食サービスボランティア募集



絵手紙を添えたお弁当を「お元気ですか？」の一声とともに渡します。旬の食材を使ったお弁当は、利用者の皆さんに大変喜ばれております。

玉造地区の調理・配達ボランティアとして活動して下さる方を募集しています。

お料理が好きな方、興味がある方は是非活動に参加してみませんか？

- 活動日 毎月第2木曜日（午前9時～正午くらい）
- 活動内容 市内にお住まいのひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障害者世帯へのお弁当づくり・配達（どちらかのみでも結構です）
- 実施会場 玉造公民館 調理室



（お問合せ・お申込み）地域福祉係 ☎ 0299（36）2020

# 第10回 ビックリ・発見・夏キャンプ開催

～真夏の日差しのもと笑顔はじける～

今年度で10回目を迎えるビックリ・発見・夏キャンプが8月8日（水）から9日（木）にかけて白浜少年自然の家において開催されました。この事業は、障害のある方を対象とし、自立・交流・体験の機会拡大を通じて社会性や協調性を育むことを目的としています。

当日は、総勢141名の方にご参加いただき、真夏の日差しの下、レクリエーション及び交流会を中心としたプログラムを行いました。

また、開催にあたっては土浦市所在のオール医療福祉専門学校の学生の皆さんにご協力をいただきました。



夜は花火を楽しみました



レクリエーションの様子



大勢のみなさんにご参加いただきました

## 参加者の声 学生

参加者が楽しんでくれるのが凄くうれしかったです。参加するまでは不安のほうが多かったですが、彼らの笑顔を見てそれらは吹き飛びました。しかし、想像していたことと違うこともあり、思い通りにいかないことも多々ありました。それらもまた勉強だと思いました。

## 参加者の声 保護者

こういった事業をしてもらえるのはありがたいです。子どもたちも毎年楽しみにしています。行方市は障害者に対する社会資源が多いとは言えない状況ですが、こういった事業も含めて少しずつでも増えていってほしいと思います。また、保護者を対象にした講演会がプログラムに含まれているので、そちらの方の参加者も増えていったらいいと思います。



保護者を対象とした講演会



## 障害者地域活動支援センター「ドリームハウス」

### ～和やかな雰囲気で作業&カレー作り～

7月11日(水)に利用者20名、保護者17名計37名の参加のもと家族交流会を実施し、利用者と保護者でカレー作り班と内職作業班に分かれて作業を行いました。

カレー作りは、準備、調理、片付けまでを利用者と保護者で分担して行いました。

また、内職作業は、普段利用者が行っているフィルターの袋詰め作業を保護者との共同で行いました。

最後に全員で、手作りカレーを食べながら交流会を行いました。自分たちで作ったカレーは一味違ったようで、いつもよりも会話が弾んだ様子が伺えました。



カレー作りの様子

行方市障害者地域活動支援センター  
「ドリームハウス」

〒311-3832

行方市麻生 2744-23

☎ 0299(72)0054

楽しかったね!

## のびのびサポ-ト事業

「おはようございます。」と元気な朝のあいさつからはじまりました。昨年より大きく成長した元気な姿に逢うことができ、スタッフ一同とても嬉しかったです。

行方市玉造農村環境改善センターを会場に、夏休み中の10日間、障害児のレスパイト(障害のある方の日常的なケアから一時的開放)としてのびのび



音楽に合わせてリズムをとります



プールの様子

サポ-ト事業を開催しました。暑い日が続きましたが、プールやシャボン玉をして、楽しく過ごすことができました。

4年目を迎え、今年度は総勢81名の皆様のご参加をいただきました。

# はじめての手話③

あいさつ、感情表現と続いてきましたはじめての手話ですが、今回は家族の手話をご紹介します。

①父、お父さん、父親、  
親父、パパ



右手人差指の指先で頬を撫で下ろし、親指を立てて上げる

②母、お母さん、母親、  
おふくろ、ママ

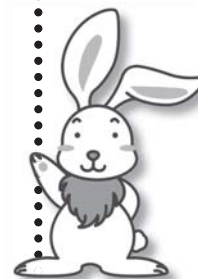


右手人差指の指先で頬を撫で下ろし、小指を立てて上げる

③兄弟



両手の中指を立てて並べ、上下に引き離す  
右手中指だけを立たせた状態で上げる(兄、下げる(弟)



④姉妹



並べた両手の小指を上下に引き離す  
(右手小指だけを立たせた状態で上げる(姉、下げる(妹)

⑤家族、ファミリー



左手を斜めに構えた下で立てた右手2指を半回転させる  
(左手は冴を表す)

男、女という手話が基礎になっているものが多くあります。

⑥男、男の人、彼



右手の親指を立て、胸前に置く

⑦女、婦人、彼女



右手の立てた小指を胸前に置く

## 市内において活動している手話サークル

みんなの手 (麻生地区)、相生会 (北浦地区)、ほたる灯 (玉造地区) があります。手話に興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

お問い合わせ 地域福祉係 ☎0299 (36) 2020

## ～言語聴覚士に相談してみませんか？～

- ・頭部の病気や怪我で言葉が思うように話せなくなった。
- ・発音が不明瞭で伝わりにくい。
- ・近頃上手く飲み込めない、飲み込みに時間がかかるようになった。
- ・こえんせいはいえん誤嚥性肺炎の心配がある。

実施日：毎月一回（言語聴覚士のスケジュールによる）

対象者：上記の症状があり市内にお住まいの方（施設入所を除く）

内容：言語聴覚士の訪問による相談・助言・指導（30分程度）

料金：無料

申込先：在宅福祉係 ☎ 0299（36）2020

Fax 0299（55）4545



### 麻生 元気で～さ～びす館 参加者募集

みんな楽しく体操やゲームをして、  
一日を過ごしませんか？

- 目的：健康づくりと仲間づくりを通じて  
の引きこもり予防
- 対象：市内在住の75歳以上の方
- 開催日：11月より毎月1回
- 開催時間：10：30～15：30
- 開催場所：西浦地区学習センター  
行方市行方541
- 参加費：700円（食事代等）
- 定員：15名

※送迎が必要な方は、お伝えください。

お問合せ 地域福祉係 0299（36）2020

### お知らせ

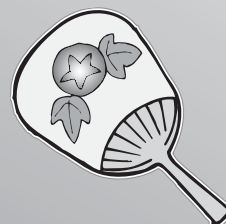
統廃合した北浦出張所ですが、電話番号及びファクシミリにつきましても、今年いっぱいをもって廃止とさせていただきますのでご理解、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

.....  
廃止となる電話番号

0291-35-2052

廃止となるファクシミリ番号

0291-34-6111



# 行方市善意銀行

平成24年5月1日から平成24年7月31日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の福祉事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。



行方市立麻生小学校児童会



一二三会

## 皆さまからの寄付金 (順不同・敬称略)

### 一般寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
鬼澤 加代子	7,000	無指定
一二三会 代表 阿部剛	38,577	障害者地域活動支援センター
行方市ダンススポーツ部	10,000	無指定
茨城県ハイヤー協会行方支部	30,000	無指定
理容組合銚田支部	11,000	無指定
花で彩るまちづくり会	10,000	福祉一般
行方市立玉造幼稚園	4,737	無指定
行方市立麻生小学校児童会	8,000	無指定

### 善意の預託品

預託者名	預託品	指定先
高柳 とき子	紙オムツ	行方市社協訪問介護事業所

### 指定寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
日下 正之	20,000	北浦
金井 了	20,000	無指定
石橋 明	20,000	北浦
宮内 忠司	10,000	北浦
北谷 進知	20,000	北浦
河野 巖	20,000	北浦
矢崎 裕子	10,000	北浦
千ヶ崎 秋夫	20,000	北浦
岡里 安雄	10,000	北浦
藤崎 利二	10,000	北浦
吉田 信也	10,000	北浦
宮内 修一	20,000	北浦
齊藤 尚也	20,000	北浦
小堤 利一	20,000	北浦
山野 昭寿	10,000	北浦
後藤 秀一	10,000	北浦
島田 敦紀	10,000	北浦

故人のご冥福をお祈り申し上げます。

### 広報委員

委員長	大軒 光江	委員	高橋さち子
副委員長	石橋 展子		山崎 實
委員	大久保 守		横田 照実
	菅谷 京子		代々城千尋
	磯山 正子		小峰 宏信

## 編集後記

猛暑の中、連日「いじめ問題」が取り上げられています。新聞紙上では著名人の体験を元にしたアドバイスが日替わりで連載されています。問題が複雑なだけになかなか解決の道が見えず、被害者の方々の胸中を案ずると本当に心が痛みます。

そんな中、ロンドンオリンピックが開催されました。今世界はスポーツを通して一つとなり、私達の目はテレビにクギづけ状態です。選手一人一人の鍛え抜いた究極の技を見る事は何にも増して素晴らしい事です。またチームプレーでは対戦相手への細部にわたる情報の収集と監督的確な指示により、選手は丸となり駆け引きも含めて見る者を楽ませています。開会前にはメディアが選手一人一人に対して余りにもメダル獲得へのプレッシャーを与

え過ぎではないかという思いもありましたが、日本人選手のメダル獲得数は驚くばかりです。また勝敗に拘らず「自分の持てる力を出し切った。満足の演技が出来た。日本の皆に勇気を与える事が出来たと思う」等々、夫々のコメントにも誇りが感じられ、私の思いも全くの杞憂でした。今は唯リアルタイムでスポーツを楽しむことの出来る幸せを感じています。

私たちは東日本大震災後「絆」という言葉の下に、人と人との結びつき、相手を思い遣る心と行動等により、多くの事を再確認し地域間のコミュニケーションも計られて来ました。その様な中で一番必要な事は日常生活上の「身近な情報」と「確かな情報」を得る事でした。

社協だより「あおぞら」も市民の皆さまのご協力を頂きながら26号発行となりました。今後皆さまの役に立つ情報誌として努めて参る所存です。

大軒 光江